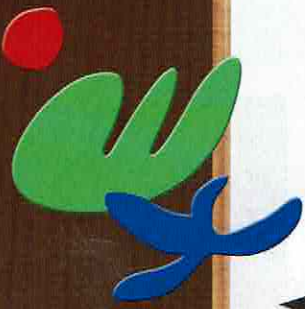


2010

7月

第16号



ウツディとよた

WOODY TOYOTA COMMUNICATION

通信

特集 第5回 豊田森林組合通常総代会

関連記事は2～3頁



●表紙の人
元下山村森林組合代表理事組合長 川合専八郎さん
(6頁で紹介)

【発行日】平成22年7月20日
【発行】豊田森林組合
〒444-2424
豊田市足助町横枕3番地1
TEL 0565-61-1616
FAX 0565-61-1617
〈Eメール〉
info@woodytoyota.net
〈ホームページ〉
http://www.woodytoyota.net/

6月20日、第5回 豊田森林組合通常総代会を開催 全議案を可決、承認

第5回通常総代会を6月20日、豊田市足助町の百年草で開催しました。

総代会には、総代199名の内、166人(委任状出席者含む)が出席されました。また、県・市の行政機関や議会議員、関連団体から多くの来賓の臨席をいただきました。

当日は組合長挨拶に続き、豊田地区総代である佐藤光昭さんを議長に選出、議事録署名者には田沢久嗣さん、川合文雄さんが選任され、平成21年度事業報告、決算を始め、10件の議案について慎重な審議が進められました。

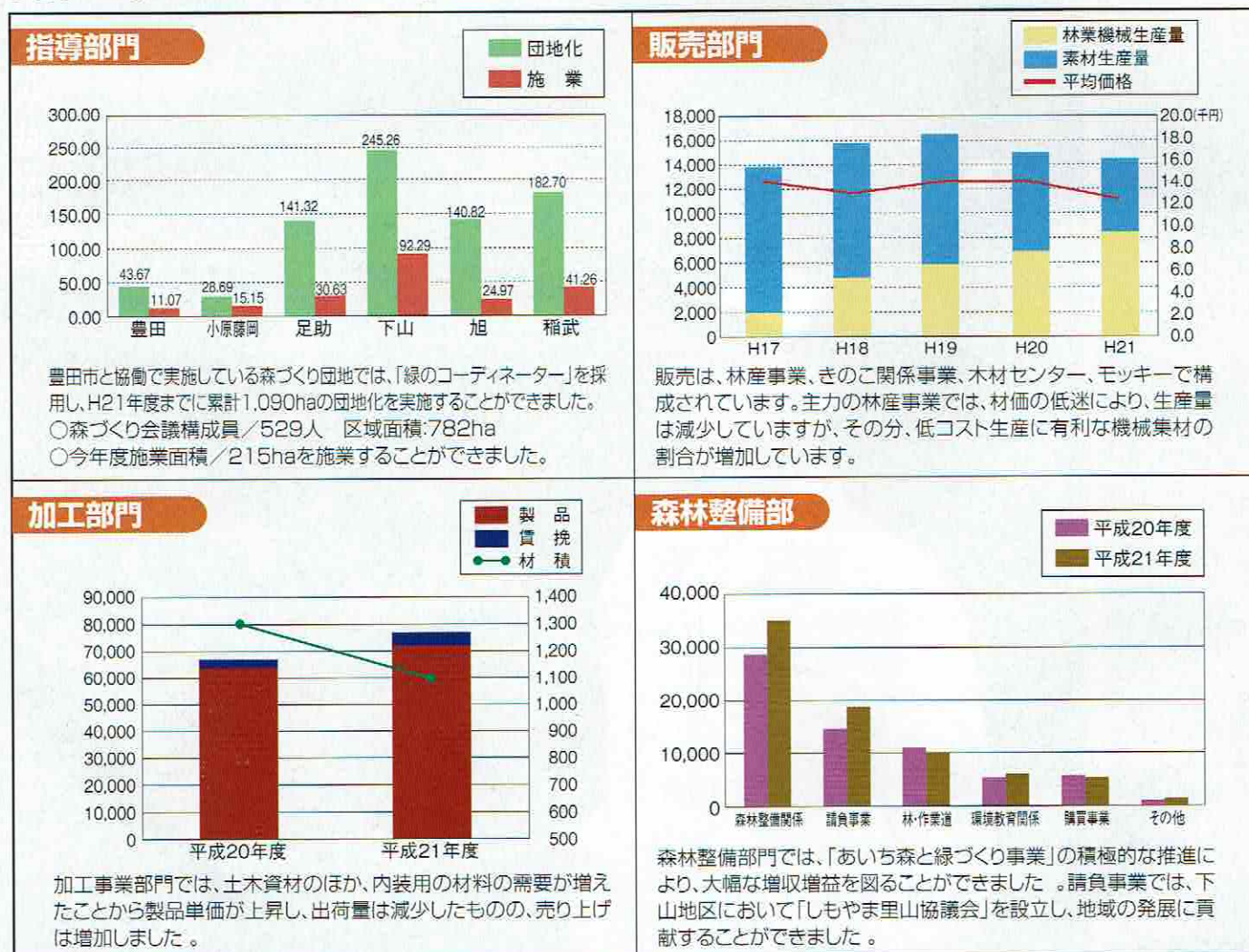
見事な議事進行を務められた
「佐藤光昭」さん▶



21年度の主な事業報告

「森づくり団地」累計1,090haの団地化を実施! 経常利益は4,870万円余

21年度の部門別事業報告は下記の通りです。各部門での取り組みの結果、前年度の赤字から黒字に転じ経常利益が4,870万円余を計上することができました。この結果を一時的なものではなく安定した経営をしていけるよう、22年度の取り組みへつなげていきたいと思っております。(決算結果は3ページの表1を参照ください)





○可決・承認された議案

第1号	平成21年度事業報告について
第2号	豊田森林組合中期経営計画について
第3号	平成22年度事業計画について
第4号	平成22年度借入金の最高限度額について
第5号	一組合員に対する債務保証の最高限度額の決定について
第6号	平成22年度各種事業手数料の決定について
第7号	役員補欠選任について
第8号	平成22年度役員の報酬額の決定について
第9号	平成22年度余裕金の預け入れ先の決定について
第10号	総代会決議事項の修正に関する件について

役員補欠選任について

理事に
鈴木正之さんを選任

昨年度末をもって、足助地区木本昭平理事が辞任され、後任として鈴木正之さんが選任(足助地区桑田和町在住)されました。これから理事として組合運営に携わっていただきます。



22年度の主な事業計画

合併5年を経過し、組合員、市民からの期待に答えられる組合運営を目指す。

平成27年度を目標年次とする「第1次豊田森林組合中期経営計画」を策定し、矢作川中上流域の森林の健全な育成と管理を行う中核的な担い手となるため、合併時の宣言事項を踏まえ、今年度より内部機構の一部を変え、業務課を「林産課」「森林整備課」に分割し、さらなる森林整備の推進を目指しながら決意を新たに取組みます。

※第一次中期経営計画については別紙、内部機構の変更については7ページを参照ください。

指導部門	「森づくり会議」設立のさらなる推進と、「森づくり団地」の設定を豊田市との協働により強力に推進します。また、高性能林業機械を活用した低コスト施業地の視察等により、組合員の利益向上につなげるよう提案します。
販売部門	高性能林業機械が充実した今、出材システムの効率化を高め、新生産システムによる安定販売と、間伐事業及び森のプラン事業による組合員の山林経営向上を目指します。
加工部門	スギ材の内装加工関連の事業が公共関係から注目される今、官公庁、諸団体との協働により、小径木中心の加工事業から一步前進すべく努力致します。
森林整備部門	集約化提案型施業により、受託間伐を積極的に推進します。また、間伐を中心とした請負事業を積極的に推進し、公益的機能を十分に発揮する森林の造成に努めます。

平成21年度損益決算と平成22年度損益計画(表1) (単位:千円)

項 目		決算 (平成21年度)	計画 (平成22年度)
売上高	指導部門	23,412	33,696
	販売部門	245,021	262,482
	加工部門	76,783	80,000
	森林整備部門	754,135	746,286
	合 計	1,099,351	1,122,464
事業管理費		393,973	398,000
事業利益		50,410	12,888
経常利益		48,754	12,888
当期純利益		46,725	11,888
法人税・住民税・事業税		▲14,500	▲5,000
当期剰余金		32,225	6,888
前期繰越剰余金		13,468	25,694
当期末処分剰余金		45,694	32,582



●剰余金処分について
下記のとおりになりました。(単位:千円)

摘 要	金 額
21年度末処分剰余金	45,694
剰余金処分額	
法定準備金	10,000
任意積立金	10,000
次期繰越剰余金	25,694

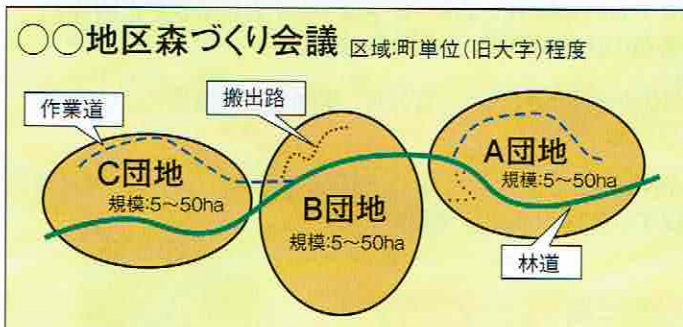
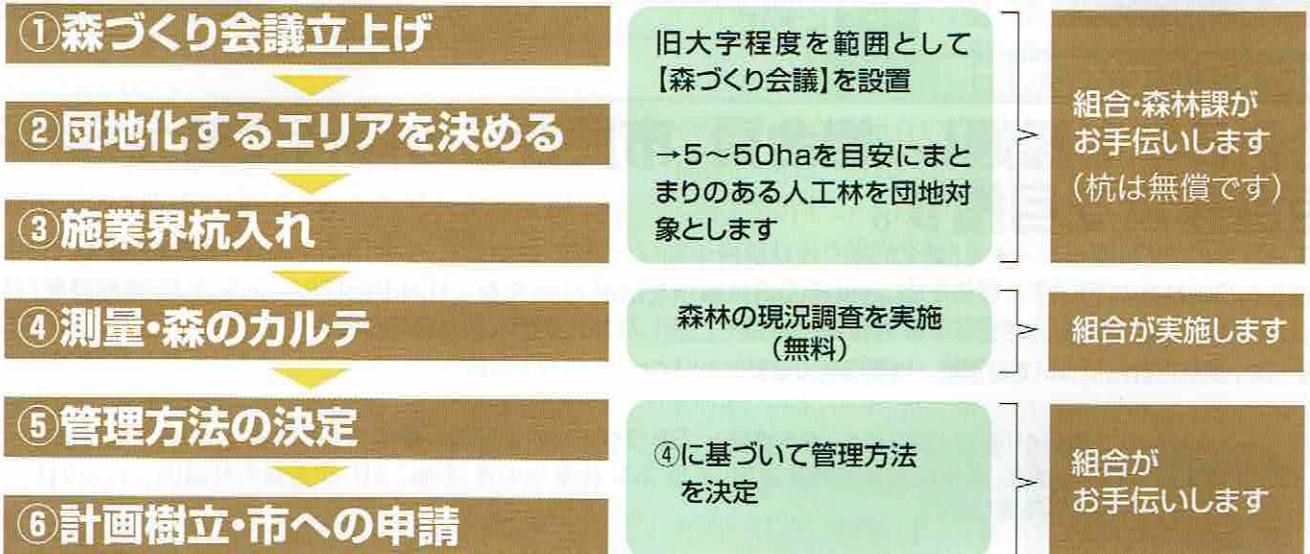
森林整備課から お知らせ!

間伐やろまい!

有利な条件で山の手入れをしましょう。

森づくり団地として施業を実施すると、有利な補助を受けることができます。条件によっては、所有者負担なしでの間伐実施や、搬出間伐に上乗せ補助を受けることができるなど、組合員さんにとってメリットが盛りだくさんです。(お持ちの山林によって受けられる補助は異なります。)
今回は、団地化の流れについてご紹介します。

森づくり団地の認定を受けるには…



旭地区加塩第1ブロック
団地杭入れの様子

森づくり会議の設立状況…

(H22.6月現在)

地区	豊田	小原・藤岡	足助	下山	旭	稲武	合計
森づくり 会議設置数	4	4	18	16	13	6	61
認定済団地 面積 (ha)	60	36	185	343	189	318	1131

21年度までにおよそ1000haの団地認定を受け、団地化のお手伝いをさせていただいてきました。組合員の皆さまにとっては、有利な補助を受けられるだけでなく境界を明確にするよい機会ともいえます。

御相談等は森林組合までお気軽にどうぞ

林産課から お知らせ!

丸太が各地に売られるまで

組合員さんの山から切り出した丸太は、豊田森林組合の木材センターで月に2回開催している木材市場で販売しています。今回は丸太がどのように売られているのか木材センターの様子をご紹介します。

山からトラックで丸太が運ばれてきます。



丸太を土場へ降ろします。



土場へ降ろされた丸太。初めはいろんな太さのものが混在しています。



丸太の向きをそろえ、その後、末口直径の太さごと、また、木の色目や曲がり・節の状態などを考慮して仕分けします。



仕分けをした丸太。山ごとに番号札をつけ、準備完了!



各業者が購入した丸太はトラックに積み込まれ、各地で利用されるべく旅立ちます。



《木材市場》

月に2回木材市場を開催して、丸太を販売します。市場は入札方式で行い、買い方は県内や近隣県の仲介業者や製材業者などです。豊田森林組合では、毎回平均500~600m³の丸太を扱っています。(目安:大型トラック30車くらい)

採材(材の切り方)の仕方によっても取引価格は変わります。自力間伐を行うときには、市場の相場をちょっと勉強してみるとよいでしょう。(下表は6月9日の市況です)採材についてわからないことなどがあれば木材センターへお越しください。過去の市況・最新の市況も閲覧できます。

6月9日 市況

樹種	長さ	末口径 cm	平均	高値	高低
スギ	3m	小丸太 (8~13)	4,000	4,400	↓
		小丸太 (8~13)	4,000	4,000	↓
	4m	母屋丸太 (14~18)	7,000	10,000	↑
		中目 (20~22)	11,000	13,000	↑
		中目 (24~28)	12,000	15,000	↑
		尺上 (30~)	10,000	14,000	→
		(14~18)	8,500	9,500	→
	6m	(20~24)	8,600	9,000	→
		(26~28)	11,000	13,000	↑
		(30~40)	35,000	45,000	↑
ヒノキ	3m	小丸太 (7~13)	7,000	9,000	→
		柱材 (14~18)	15,000	20,900	↓
		中目 (20~28)	15,000	22,000	→
		尺上 (30~)	26,000	31,000	↑
	4m	小丸太 (7~13)	7,500	9,000	↓
		土台取り	12,000	19,000	↓
		中目 (20~28)	17,000	25,000	↓
	6m	尺上	26,000	41,800	→
		(14~18)	19,000	25,900	↓
		(18~24)	23,000	27,200	↓

相場価格はm³当り。

スギ100%の家完成

以前ウッディとよた通信でもご紹介した旭地区在住の安藤久氏さんの新築の家(スギ100%の家)が完成しました。

6月23日から25日まで愛知県主催で見学会が開催され、木目を生かした内装に見学者は感嘆の声をあげていました。



表紙の

人物紹介

ふんばって仕事をこなせば、
運は後からついてくる!

●元下山村森林組合代表理事組合長 川合専八郎さん

今回ご紹介するのは、元下山村森林組合代表理事組合長の川合専八郎さん(79歳)です。川合さんは長年下山村森林組合に勤務し、地域の発展に貢献してきたことが認められ、今年の春、旭日単光章を叙勲されました。少しですがその歩みをお伺いしたので、お祝いの気持ちも兼ねてご紹介させていただきます。

川合さんが下山村森林組合に勤め始められたのは、昭和47年。農作業をしながら個人で薪や炭の販売などをされていた川合さんですが、その時の森林組合長に見初められ、ぜひ来てくれと声をかけられて働きだされたそうです。組合に入ってまず着手したのが、乾燥シイタケ販売の取りまとめです。それまでは、川下からやってきた業者が、個人宅を回って乾燥シイタケを買い取っていました。しかし、個人対業者では安く取引されてしまうため、森林組合を通して適正な価格を設定して販売することを始められました。そのお陰で、個々の生産者の実入りは多くなり、そのことが意欲を高めることにもつながったため、シイタケ栽培がいっそう盛んに行われるようになりました。ピークのころには下山産シイタケが全国各地に出回るほどだったそうです。

また、木材の販売においても尽力されました。勤務当初は、組合にはトラック1台もなく、専属の労務班もないという状態だったそうですが、働く人がいなければ仕事ができないので、まずはなんとか人を集めて労務班をつくられました。そして、組合で一定の手数料を徴収し、あとは所有者へ還元するという委託販売方式で仕

事を開拓されていきました。その頃は、下山村周辺に十数軒の材木業者があったそうですが、森林組合へ仕事の依頼が増えたことに加え、木材価格の低迷という時代背景も併って多くの業者が廃業に追い込まれました。しかし、生産者同士が力を合わせ自分たちの利益を守るという協同組合の目的から考えると、組合本来の役割を果たしたといえるでしょう。

以来、専務理事、代表理事組合長の職を経ながら、豊田森林組合として合併する直前まで、36年間にわたり下山村森林組合の礎を築いてこられました。その間に心がけてこられたことなどがあればと伺うと、とにかく黒字を出すことを目指してきたとのこと。赤字経営では、職員に払う給料もままならず、良い人材が集まらない。一生懸命やると仕事が増えて忙しくはなったが、大変でもふんばって仕事をこなすことで経営が軌道にのり、自然と人材も集まり、組合員へ利益を還元することもできたと言います。波に乗ってしまえば、あとは運もついてくるが、そこまで持っていくのが大変だったなあと語ってくださいました。時代によって状況は変わっても、組合の精神は変わらないはず。我々現職員もその心を引き継いでいけたらと思います。



(中尾真季/記)

受章・受賞おめでとございます!

黄綬褒章
受章足助地区在住
天野敬一さん

昭和30年頃からきのこの栽培を始め、試行錯誤を重ねつつ、昭和53年には東加茂生シイタケ生産研究会(後の東加茂きのこ生産進行協議会)を発足し、以来地域のきのこ栽培技術向上にも取り組んできました。そうした地域の特用林産の発展への貢献が高く評価され、今回の受章となりました。

中日造林賞
受賞小原地区在住
加藤 清さん

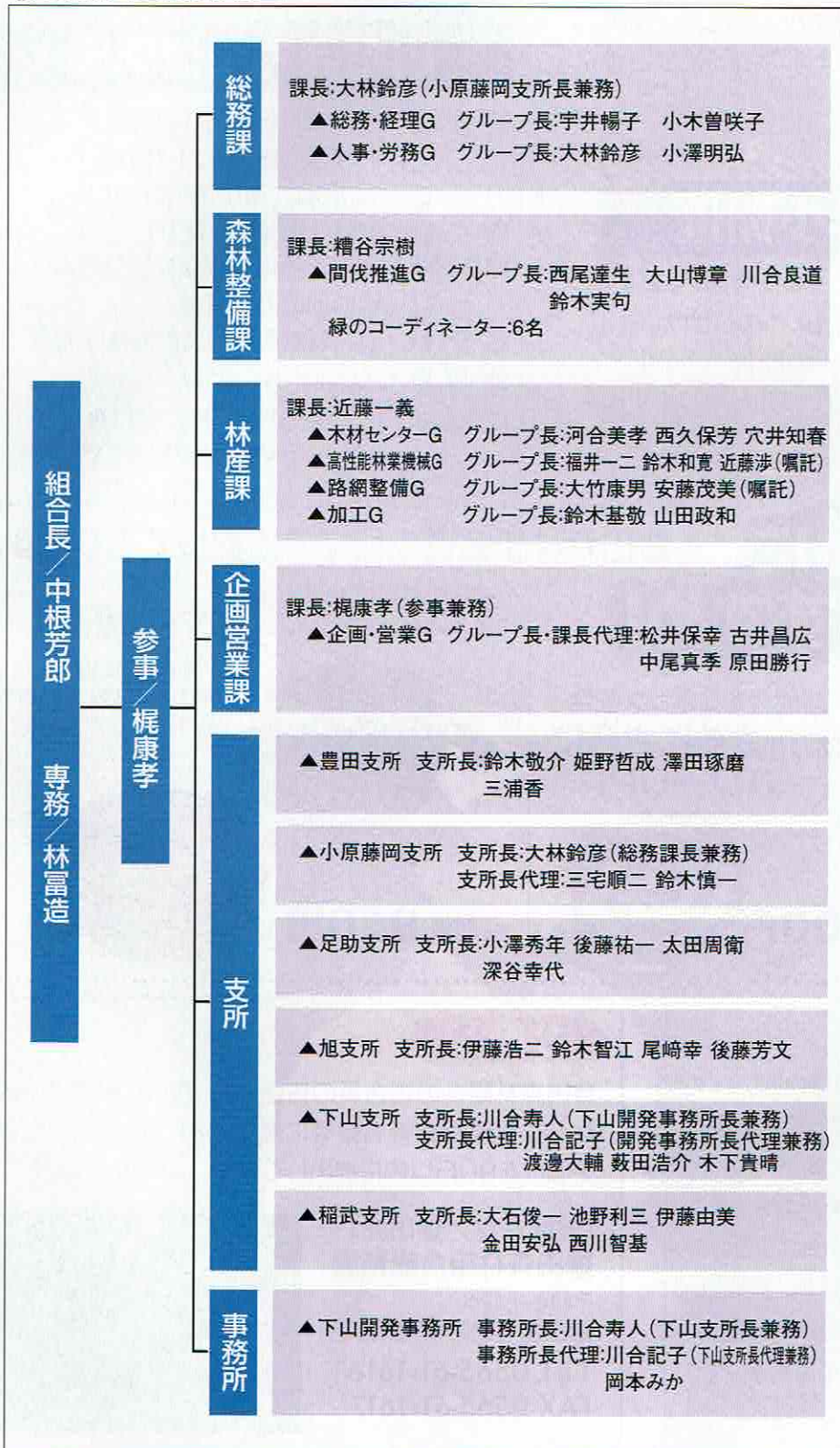
加藤さんは、治山事業を活用するなどして、昭和47年の豪雨による山林被害の復旧に尽力されました。その後、小原村森林組合長を経て、豊田森林組合として合併後には専務理事として、平成21年度退任されるまでこの地域の森林整備の推進に貢献されたことが高く評価され、今回の受賞となりました。

●豊田森林組合

新体制で更なる事業推進に努めます。

豊田市が策定した「森づくり基本計画」の着実な推進、21年度から本格始動した「森と緑づくり事業」による森林整備を確実に推進するため、業務課を分割し「林産課」「森林整備課」を新設しました。

○機構図と職員配置



新参事より



平成21年度は、政権交代や世界同時不況など林業・木材業界においても大きな影響が出るなか、当組合は黒字決算を迎えることができました。これに甘んじることなく、今年は中期経営計画を実施に移し、役職員一丸となって、地域の担い手となるよう鋭意精進いたす所存であります。
(参事兼企画営業課長 / 梶康孝)

新入職員より
ひとこと!



下山に来て2カ月。色んな事に挑戦していきたいと思えます。よろしくお願ひします!

下山開発事務所
岡本みか



次世代に豊かな森をつないでいけるよう力を注いでいきたいと思ひます。

稲武支所
西川智基



修行中の身ですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。

足助支所
深谷幸代



● 森林学校ニュース ●

とよた森林学校 受講者募集!

マイペースで所有林の手入れを始めませんか?基礎から間伐技術をお教えします。

山主自力間伐講座

開催日/10月30(土)、31日(日)
11月13日(土)、14日(日)
内容/間伐研修、豊田市の森づくり
講師/安藤久氏(指導林家)
開催場所/豊田森林組合(足助地区)および足助地区の公有林
定員/10名(定員を超えた場合は抽選)
参加費/4,000円(4回分)
申し込み/事務局(0565-61-1618)
※申し込み締切/10月8(金)まで

組合員へのお知らせ



もみじ市まつり

予告

《開催予定日》10月24日(日)

毎年恒例行事!今年の秋も開催します。

スケジュールや詳細内容については検討中ですが、記念市をはじめ、講演会や施業地の見学会、林業機械の展示即売会、講習会などを予定しています。詳細は決まり次第皆さまにお知らせしますので、ぜひご参加ください!

組合員感謝イベント開催

予告

《開催時期》12月

合併5年を経過し、組合員の皆さまへの日頃の感謝をこめて、今年12月に感謝イベントの開催を予定しています。詳細は決まり次第皆さまにお知らせしますので、お楽しみに!

夏の山林作業に おすすめ!

※豊田森林組合各支所にて販売しております。

パワー森林香

野外の作業に一段と強くなりました。



赤い線香
赤い函
パワー赤函と呼んでください。

新成分エミネンス配合
効力がさらにさらに
パワーUP!



特価 **1,300円**
(税込)

携帯防虫器 安全止金付き

ブヨ・蚊除けに最適です。
パワー森林香・森林香兼用の器具です。



特価 **980円**
(税込)

編集後記

今年度からウッディとよた通信の取りまとめを行うことになりました。前任の伊藤前参事が優秀だっただけにプレッシャーもありましたが、各部署から選出された編集委員の皆さんの協力でなんとか今号を発行できました。組合員と組合をつなぐ通信となるようさらに努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(中尾真季/記)



お願い

豊田森林組合の組合員の皆さんで、住所の変更や相続などで土地所有者名義等に変更があった場合には、変更届けを90日以内に提出して下さい。お願いします。

〔お問合せ/提出先〕
豊田森林組合総務課

〒444-2424
豊田市足助町横枕3番地1
TEL 0565-61-1616
FAX 0565-61-1617



豊田森林組合は、平成17年4月設立時に「運営基本方針書」を作成し、5年が経過しました。

その間、目まぐるしく変化する社会環境の中、「素早い対応」「ビジョン」「活性化」「次世代育成」が不可欠と考え、平成22年度から6年間の経営指針となる第1次中期経営計画を作成しました。

中期経営計画では、あるべき姿とその方向性を明確にし、理念を軸にしたビジョンと目標を設定しました。「絵に描いた餅」にしないために、ボトムアップ方式を採用しながら策定しました。

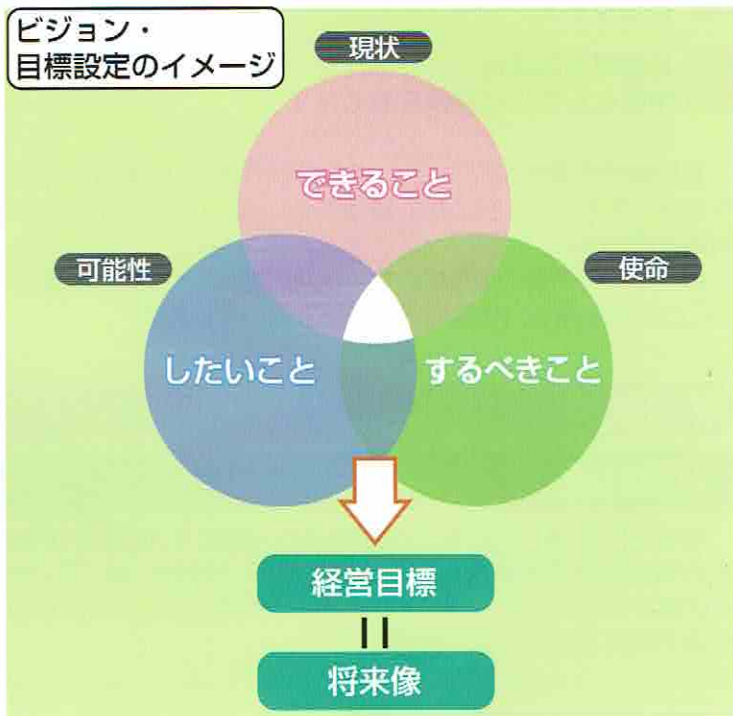
豊田森林組合 第1次中期経営計画 平成22年度～平成27年度

組合長あいさつ 中根 芳郎

今回の中期経営計画を策定するにあたり、合併時に策定した「運営基本方針書」を踏まえ、新たな組織体制のもと、6年という中期スパンで考えました。現在の厳しい環境をチャンスに変えて、豊田森林組合が地域社会に根ざし、かけがえのない財産を後世に引き継ぐために、最大限の努力をしていく指針として、経営理念やビジョンの再構築が必要と考え職員一丸となって作成しました。

森林が持つ多様な価値、変化するライフスタイルに対応すべく、今後とも技術や知識を高め、役職員一同、精一杯励む所存でございます。

組合員、関係者の皆様には、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



組合員アンケート結果

実施概要

合併5年が経過することにあたり、今までの組合員サービスが適正であるか、また今後の運営の糧とするため、アンケートを行いました。対象は、各地区の組合員構成比率により無作為に抽出し、800人の方々を対象に実施しました。

結果については、日常業務のほか計画づくりの貴重な資源となりました。

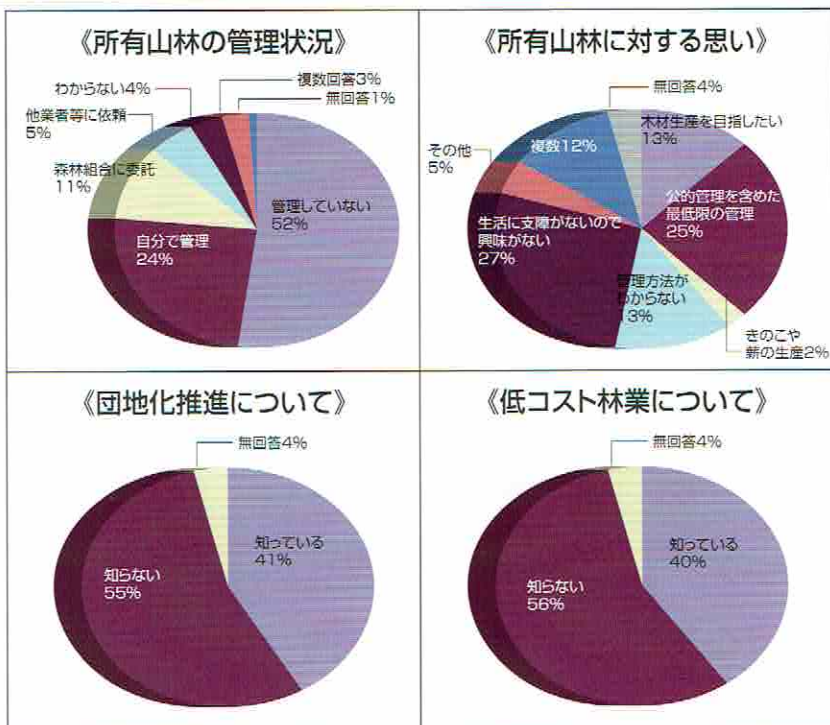
アンケートの配布、回収状況	対象者数/800人 回収/450人 回収率/56.3%(有効回答53.9%)
---------------	--

所有山林の管理状況
管理していない人...52%

所有林に対する思い
公的管理を含めた最低限の管理、方法がわからない、興味がないの3項目を合わせると...65%

団地化推進について
知らない人...55%

低コスト林業について
知らない人...56%



アンケート結果を見ると、〈管理状況〉〈思い〉で半数以上の人が興味が薄れていること、合併以来推進している〈団地化〉〈低コスト林業〉についても50%以上の人が知らないと回答していました。

組合の啓発活動が不足していることを、改めて反省し、計画づくりの大きなヒントになりました。

第2章 経営理念・ビジョン・行動指針・基本方針

経営理念

人、地域、持続できる
環境のために。

- 健全な組合活動を通じ、人々の心が豊かになる社会づくりに貢献します。
- 地域の林業を活性化するため、安定的な地域材供給を目指します。
- 持続可能な環境づくりのため、地域森林管理の中核として森林整備を進めます。

協同組合の原則に立ち返り、組合員との連携、林業の活性化を目標に活動することにより、環境保全に寄与し、地域社会への貢献を図ります。

現在までの活動や取り組みを組合員の皆様や、行政に提案することにより、新しい林業モデルの確立を目指します。

経営ビジョン

組織の充実

組合員、行政、関係諸団体との連携を確立し、自主・自立した森林組合を目指します。

事業の充実

森林管理のシステム化を進め、高性能林業機械により生産される地域材の流通・活用により、生産から販売までの合理的な販売体制を目指します。

経営の充実

組合員、地域に貢献できるように、効率的な組織運営と安定的な経営を確立するとともに、職員・作業員の育成を行い、経営資源の充実に図ります。

合併時に策定した「運営基本方針書」を踏まえつつ、現代の林業経営のモデルとなるよう、3つの充実を図ります。

行動指針

経営理念やビジョンを実行するにあたり、行動指針を掲げます。

プロ意識

高い目標を持ち、知識、技術、技能を習得し、プロ意識を持って取り組みます。

協調

固定概念や組織の壁にとらわれず、たえずコミュニケーションを行い、情報を皆で共有し、日常業務に役立てます。

挑戦

既存概念にとらわれず、挑戦を行い、課題に取り組み、常に成長を続けます。

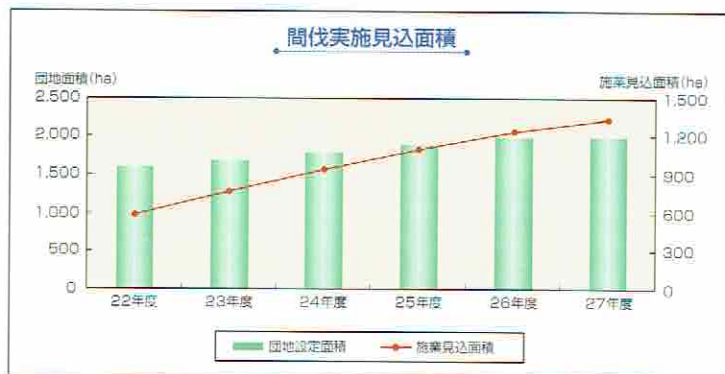
第3章 部門計画・損益計画

取扱計画

指導部門で、森づくりを行うことにより、保育(下刈・間伐)を始め、組合事業の全てを通過することになります。団地化、低コスト林業を啓発することにより、安定的な事業量確保を行い、計画的な森林整備を実施することができます。



	部門	説明
組合事業	指導部門	森づくり、講習会など
	販売部門	林産、木材センター、きのこ
	加工部門	製材、杭など
	森林整備部門	造林一式、請負工事など



管理部門

取組み 1 データベースの構築

組合員台帳や今までの手入れの履歴をデータとして整理することにより、円滑で迅速な森林管理に役立てます。

取組み 3 人材の育成

利用していただいた全ての方が、再び訪れたいような職場にするため、適材適所に人事配置し、必要な教育を行っていきます。

取組み 2 コンプライアンスの確立

職員一人ひとりが危機意識を持ち、信頼が財産となるよう行動指針の遵守を徹底します。

取組み 4 本館の建設

組織や機能を充実させ、その効果を最大限発揮させるため、本館の建設を行います。購買品や木製品の拡充、また組合員の憩いの場として利用できる施設を目指し、平成27年度を目標に計画を着手します。

財務計画

今後6年間の計画は、基本方針のコンセプトに基づき策定しました。部門計画で計画した、目標数量を実施することにより、平成27年度には、取扱高1,195百万円、事業(営業)利益率3%確保を目指します。

安定した経営を行うことにより、ビジョンで掲げた「組織」「事業」「経営」の充実を図ることが期待できます。

